

2024年度

第42回 インテリアコーディネーター資格試験

二次試験（プレゼンテーション・論文試験）問題用紙

試験日：2024年12月8日

試験時間：12:30～15:30（180分）

（試験上の注意）

- 受験票は、受験番号記載面を外にして三つ折りにし、同面を上にして机上（原則として通路側）に置いてください。
- 試験開始前に問題用紙（1部）、解答用紙（1枚）があることを確かめてください。試験開始直後に下書き用紙（課題Ⅰ用、課題Ⅰ・Ⅱ用計2枚）があることを確かめてください。不足があれば速やかに手をあげて試験監督員に申し出てください。
- 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- 解答用紙の所定欄に、二次試験受験番号と氏名を必ず記入してください。
※解答用紙提出前に、受験番号と氏名を記入したかご確認ください。
- 試験中使用できるものは、直定規（30cm以内）、三角スケール、三角定規、勾配定規、コンパス、ヘキサスケール（直定規と三角スケールの機能のみを持つもの）、型板（テンプレート）の円定規だけのもの（なお、一部に角度表示のあるものでも可）、字消し板、製図用ブラシ、色鉛筆（18本以内。色の選択は自由。軸（木や紙）に芯を通したものに限り）、ミニ鉛筆削りおよび筆記用具（鉛筆・シャープペンシル、消しゴム）です。
- 上記5. に掲げるもの以外（例えば電卓、万年筆、ボールペン、砂消しゴム、電動字消器、円定規以外の型板（テンプレート）など）の使用を禁止します。
- 試験問題の内容に関する質問については、誤植の確認以外は一切お答え致しません。乱丁落丁があれば、手をあげて試験監督員に申し出てください。
- 試験開始から120分以内および試験終了5分前以降は退出を禁止します。退出可能時間内に退出される方は手をあげて合図をし、解答用紙を試験監督員に手渡して、静かに退出してください。なお、試験開始時刻を繰り下げて実施する場合、120分以降も退出を禁止する場合があります。
- 問題用紙および下書き用紙はお持ち帰りください。
- この試験問題を販売すること、または、無断転載および複写複製（コピー）することを禁じます。

公益社団法人 インテリア産業協会

公益社団法人 日本産業協会
複製・無断使用禁止

解答にあたって

課題Ⅰプレゼンテーションおよび課題Ⅱ論文の各設問の解答にあたっては、未記入の解答欄が生じないように、時間配分に注意すること。

〔課題Ⅰ プレゼンテーション〕

「趣味コーナーのある1人暮らしのインテリアコーディネート」

60歳代半ばの男性から、図表-1に示す居室とバルコニーのインテリアコーディネートを依頼された。依頼主は、ペーパークラフト（紙で作る立体模型）の制作・鑑賞を趣味とし、室内が一体的で開放的な空間になるようなインテリアを希望している。また、時々訪れる友人2～3人と会食することがある。

下記の条件により、依頼主に説明するためのプレゼンテーション資料を作成しなさい。

1. 空間の条件

- 建物は、RC壁式構造4階建て集合住宅の4階部分である。
- 現状の平面および開口部の形式・位置・寸法は、図表-1に示す通りであり、変更はしない。
- 寝室は、居室とは別にある。
- 室内の床はフローリング（幅150、ライトオーク）、壁面と天井の仕上げはビニルクロス（アイボリー色）とする。
- 内装制限は受けないものとする。
- ユニット式収納家具については、耐震対策がなされているものとする。

2. 依頼主の要求条件

(1) 居室について

- 西側はD（ダイニング）コーナーとL（リビング）コーナー、東側は趣味コーナーとする。
- 図表-2に示すユニット式収納家具を適切な位置に配置（壁置き、自立置きも可）する。
- 趣味コーナーと、DコーナーおよびLコーナーを視覚的に分けるために、適切なユニット式収納家具を図表-2から選択して配置する。

(2) Dコーナーについて

- 4人が座れるようにテーブルを置く。
- 椅子4脚は、成形合板でスタッキング可能なものとし、スタッキングするスペースを確保する。
- 配膳台としても使える棚を図表-2のユニット式収納家具から選び、配置する。

(3) Lコーナーについて

- 2人掛けソファ（張地はオレンジ系）とサイドテーブルを置き、ラグを敷く。
- 壁掛けTV（43型）を設置する。
- フロアスタンド1台を置く。

- (4) 趣味コーナーについて
- ・北側壁面に扉付き棚、オープン棚、ガラス扉付き棚を組み合わせた造作の棚（W1800×D400×H2400）1台を設置する。
 - ・パソコンデスク（W1200×D750）とひじ掛け付き椅子1脚を配置する。
 - ・南側には、趣味のための作業テーブル（W1200×D1200）1台とスツール2脚を置く。
- (5) バルコニーについて
- ・折り畳み式の椅子2脚、ティーテーブル1台、デッキチェア1脚を置く。
 - ・大きめの鉢植えを2個置く。
 - ・バルコニーの床は、30cm角のテラコッタ調タイル貼りとする。
- (6) その他のインテリア計画
- ・指定したもの以外に、それぞれの生活の場面に応じた照明器具を適切な位置に配置する。
 - ・絵画を東側壁面と西側壁面にそれぞれ配置する。
 - ・Lコーナーと趣味コーナーには、一鉢ずつ大きめの観葉植物を置く。
 - ・南側の開口部には、家具とのカラーコーディネートを考慮したウインドートリートメントを設置する。また、出入りについても考慮すること。

設問－1 インテリア平面図の作成（着彩すること）

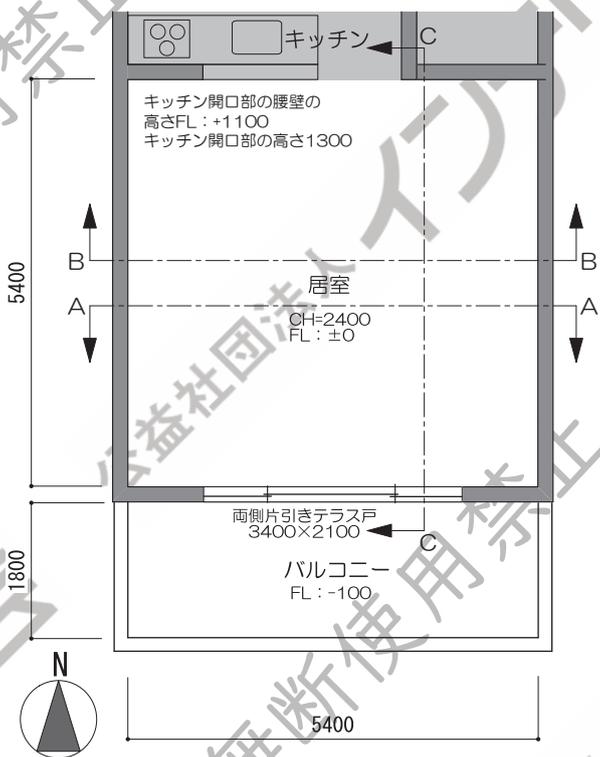
解答欄1にインテリア平面図を作成しなさい。その際、以下のことを記入しなさい。

- ・コーナー名を記入すること。
- ・ユニット式収納家具は、高さ寸法と前面形状の種類を記入すること。
- ・主要な家具は、形状と使い方がわかるように表現し、名称と寸法を記入すること。
- ・照明器具は、ブラケットやスタンド式の場合は実線で、天井面の場合は破線で図示すること。
- ・ウインドートリートメントを表現し、名称を記入すること。
- ・床の目地は省略せずに表現し、仕上げ材の名称を記入すること。
- ・依頼主にインテリアのイメージをわかりやすく伝えるために、カラーコーディネートを配慮して色鉛筆で適切に表現すること。

設問－2 インテリア立・断面図の作成（解答欄2のみ着彩すること）

解答欄2に南側（断面線は図表－1の切断位置A）、解答欄3に北側（断面線は図表－1の切断位置B）、解答欄4に西側（断面線は図表－1の切断位置C）のインテリア立・断面図を作成しなさい。

- ・断面で表現された収納家具は、内部の構成要素（引き出し、棚）を適切に表現すること。
- ・必要な部分の寸法と主要な仕上げ材を記入すること。
- ・解答欄2については、依頼主にインテリアのイメージをわかりやすく伝えるために、カラーコーディネートを配慮して色鉛筆で適切に表現すること。



図表-1 現況平面図 (S=1:100)

・網掛け部分 ■ は計画対象外

- 外形寸法 (天板・台輪を含む) : 次のいずれかを選ぶこと (上下に重ねることは不可)
 - ・ W900 × D450 × H900
 - ・ W900 × D450 × H1200
- 前面形状の種類 : 次のいずれかを選ぶこと
 - ・ オープン棚
 - ・ 扉付き棚
 - ・ 引き出し
- 仕 様 : 次のとおりとする
 - ・ 塗装仕上げ (背板含む)

図表-2 ユニット式収納家具の種類と仕様

[課題Ⅱ 論文]

設問 照明計画上の注意点について

次の①～③の空間の生活シーンを想定し、一般的に考えるべき照明計画上の注意点を述べなさい。その際、空間ごとに下記の照明の要素（※）から適切な2つを選びなさい。

解答は、①～③の空間ごとに段落を分けて、解答欄5に550～600文字で記述すること。なお、記述にあたっては、課題Ⅰとの関連性は考慮しなくてよい。

- ①玄関・廊下・階段
- ②ダイニング
- ③寝室

※照明の要素：明るさ、照明器具の配置、色温度、照明器具のデザイン、演色性、照明方式

公益社団法人 日本産業協会
複製・無断使用禁止

